

No. 1602

科学を遊ぶ

——東京——

東京北の丸にある科学技術館で「科学の遊び」展が開かれています。

これは入場者が参加、体験出来るアメリカ・サンフランシスコにある科学博物館から65点の作品が出展され、展示品にさわったり、動かしたりして、科学の基礎的原理を理解するのに役立てようというもの。

会場には、光・音・映像を使った「光のパレット」「回転盤のいたずら」「音が画を描く」「大きなシャボン玉」など身近な実験を通して子供から大人まで興味深く楽しく学べる展示物が並んでいます。

この展覧会は10月10日まで開かれています。

激走

——日本陸上選手権——

第73回日本陸上競技選手権大会が6月17日・18日、東京・国立競技場で行われました。

一線級がそろった女子1万メートル。

スタートから、4月30日に日本新記録を出した優勝候補の松野明美選手、同じ日に日本最高でパリ・マラソンに優勝した新鋭の朝比奈愛子選手が先頭集団をつくります。

5千メートル辺りでは、外国人のジャスティーナ選手が松野・朝比奈を引きはなしますが、直ぐに追いつかれ、後は2人のマッチレースとなりました。

あと1周のところで松野がスパート。直線に入り朝比奈に30メートルの差をつけ松野2連勝と思った瞬間、大きなストライドの朝比奈がゴール寸前追い込み、逆転優勝。19才の朝比奈にとって大きな自信をうえつけるレースとなりました。

招待選手も出場して世界新記録の期待された男子やり投げ。

先月、世界新記録にあと6センチと迫る87メートル60を投げた溝口選手も81メートル70の平凡な記録で、新記録は次の大会までおあずけ。

注目の男子100メートルは学生、社会人のエース8人で争われました。

結局、中京大の青戸選手が10秒28の自分のもつ日本タイ記録で初優勝。青戸選手は今までの「準決勝男」から抜け出し、世界に近づく実力を示しました。